

羽生市議会議員 動かせ羽生！ゼロからの挑戦！

中島 なおき 無所属 37 歳



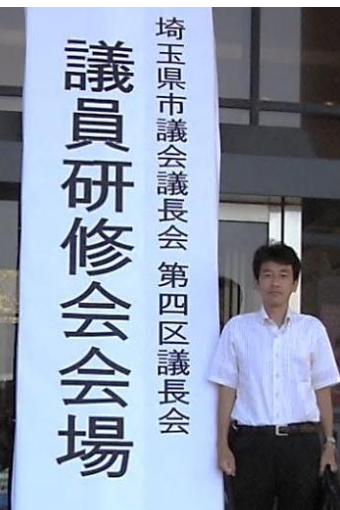
BLOG「ゼロからの挑戦日記。」ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索



開会！藍染議会



吉川市中央公民館にて
議会改革について学ぶ



法政大学にて 議員力検定を受検



仲間との連携が
政治を変える！



東松山市長選挙にて
和光市長と共に応援演説



浦和駅東口にて街頭演説
ハンドマイク一本で勝負



夏休みのわが子と
話題のペンギンの前で

ご案内

今年もやります！

議会報告会

「到来する地方分権時代」～地方議会の役割を考えよう～

日時 11月7日(日)(予約不要)13:30～15:00

場所 パープル羽生 (女性センター/南 5-4-3) **第3研修室**

※ 特定の方を対象とした報告会ではありません。どなたでもお気軽にお集まりください。

～平成22年度藍染議会が終了しました！～

平成22年度9月定例市議会は「藍染議会」と称し、9月3日に招集されました。今年も開会前にはNHKの取材が入り、その模様が午後3時からのニュース番組で首都圏のお茶の間に流されました。そして、市長提出の平成21年度羽生市一般会計歳入歳出決算・各特別会計歳入歳出決算及び、平成22年度一般会計補正予算案（10億2,559万8千円）、新条例案、政令改正に伴う条例改正案、3件の人事案の20議案と諮問1件、議員提出議案の女性センターの存続を求める意見書が上程され、それぞれ賛成全員及び、賛成多数で認定、承認、可決、同意されました。

中島が見る 市政一押し情報

【3つの新条例案が可決】

① 羽生市公共施設修繕引当基金条例

今後、既存の公共施設には莫大な修繕費用がかかることが見越されます。財源を計画的に積み立てる必要があることからの条例制定です。これまでであった、市民福祉施設建設基金条例は廃止、この条例に一本化される事になり、約2億5千万円が積み立てられます。



② 埼玉医療生活協同組合羽生総合病院の新病院建設支援基金条例

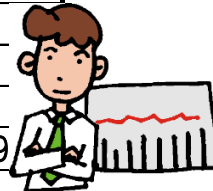
市内での新病院建設に向けた支援について具体的な姿勢を示すべきという河田市長の意向から基金条例を設置、22年度補正予算にて1億円の基金が積み立てられます。

③ 羽生市企業立地促進条例

市内への企業立地を促進するため、固定資産税軽減等の優遇措置を行えるようにするための条例制定です。

【ど～なってるの？羽生の財政指標】

市名	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率 (%)
羽生市	89.9	12.2	141.3
加須市	87.0	10.5	79.7
行田市	90.8	8.6	68.3
久喜市	96.3	12.2	113.6
春日部市	94.2	12.5	103.0
草加市	83.8	12.6	128.5
越谷市	87.3	11.2	121.9
八潮市	90.2	16.9	142.9
幸手市	93.0	12.2	71.8
蓮田市	89.8	14.0	100.0
夕張市(20年度)	82.9	42.1	1164.0



左表は平成21年度普通会計決算ベースでの羽生市と近隣自治体の財政指標です。各数値とも小さいほど健全財政であると読み取れます。
国は、実質公債費比率のイエローカードは25%以上、将来負担比率は350%以上と定めており、財政再生団体となった夕張市（最下段）と羽生市を比較すると数値に大きな差があるのがわかります。

【ゆるキャラ®さみっとin羽生 11月28日(日) 10:00~16:00】

「まちおこし」に積極的に取り組んでいる東日本の1都18県のご当地キャラクター79体（予定）が羽生水郷公園に一堂に集まり、それぞれのご当地の魅力を発信しあうイベントを開催します。ご当地自慢の物産展やキャラクターとふれあえるゲームも行う予定です。皆様のご寄付で製作したムジナもんファミリー5体のお披露目もあります。ひこにゃんの参加も決定しました！！！！



出版社から執筆依頼がありました！



月刊『地方自治職員研修』（公職研）の編集部から、掲載コーナー：連載～議会は変わる～の原稿執筆依頼（4,800字）がありました。10月15日発売の月刊『地方自治職員研修』に中島の寄稿文が掲載されます。

興味のある方は書店にてお取り寄せください。（amazonで購入可能）なお、どんなに月刊『地方自治職員研修』が売れても中島に印税収入は一切ありません。念のため…。（笑）

9月議会 中島なおき 13回目の一般質問

4年足らずで33項目の一般質問を行っています。中島の質問が市政に取り入れられ、新聞に大きく取り上げられたことも複数回あります。市議会議員としての任期も残すところ7ヶ月足らず。定例会はあと2回。今後も今までと変わりなく、現況の批判だけではなく政策提言を重視した活動を行っていきます。議会での発言全てはこちらまで！

中島直樹 発言録

検索



Q・1 「親学」の推進について

「親学」とは子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子育ての責務やその楽しさなどについて学ぼうというものである。今日、様々な要因から家庭の教育力の低下が指摘されている。親しかできない家庭教育があるにもかかわらず、家庭教育を省略されてしまった子どもが多い。羽生市においても親学を積極的に推進し、市民に対して、普及、啓発を行うことは有意義であると考えているが、羽生市行政と教育委員会の見解をうかがう。

- A. (市民福祉部長) 現在、親学の普及、啓発に務めている。更なる普及に取り組んでいく。
(生涯学習部長) 県教育委員会の勧める親学と平行し、羽生市においても今後「親学推進協会」の親学も普及、啓発に努めていきたい。



中島の視点 教育とは何か？教育制度とはどうあるべきか？ということを考えること、議論をすることは重要です。子育て環境、教育環境を整備することも重要です。議論の後、子育て、教育を見つめなおし、制度の改革を行うことは当然ながら必要です。しかし、それ以上に重要なことは、教育を施す私たち「大人」が変わらなければなりません。「大人」の中でも、特に、親が変わらなければなりません。親が変われば必然的に子どもが変わります。子どもが変われば学校が、保育所が、幼稚園が変わります。そして教員が、保育士が変わります。学校が、保育所が、幼稚園が変われば地域が変わります。地域が変われば羽生が変わります。昨今、親子の関係に変化が生じていると感じているのは私だけではないはずです。そんな思いからの質問でした。なお、「親学推進協会」の親学は秩父市、飯能市で積極的に取り入れられています。

親学

検索

Q・2 臨時財政対策債について

地方交付税交付金の代替財源ともいえる臨時財政対策債。21年度決算において、発行額は約7億円となっており、羽生市の臨時財政対策債の残高は約50億円と一般会計市債残高のうち土木債とほぼ同等の約20%を占めている。より健全、かつ持続可能な行財政運営を見越し、可能な限り発行額を抑えた予算を編成すべきと考えるが見解を伺う。

- A. (企画財務部長) 地方交付税交付金が減らされている以上、発行は止むを得ないものとする。しかし、可能な限り発行額を抑え、更なる財政健全化に向け、効率的な予算編成に努めたい。



中島の視点 臨時財政対策債とは、地方債の一種です。国の地方交付税特別会計の財源が不足し、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして該当する地方公共団体自らに地方債を発行させる制度として平成13年度からはじまりました。言葉を変えて説明すると、会社(国)からの今月分の給料(地方交付税)の一部が不払いとなったために、借金(臨時財政対策債の発行)をしてしのぎ、その借金の返済に充てるお金を、翌月以降の給料に上乗せしてもらう(後年度の交付税措置)という形になります。羽生市は交付団体であり、年間予算の約4割は依存財源です。臨時財政対策債なしでは、年間予算を組むことが困難になりますが、更なる財政健全化に向け、スピードアップを図らなければならないという思いからの質問です。今後、臨時財政対策債は国のさじ加減ひとつで、いつ何時どうなるかわからない地方債であるということは常に念頭に置かなければいけません。中島の再々質問で、答弁で河田市長は、今後も投資を抑えた、緊縮財政による市政運営を行っていくとの意思を明確にしました。

【中島なおきプロフィール】

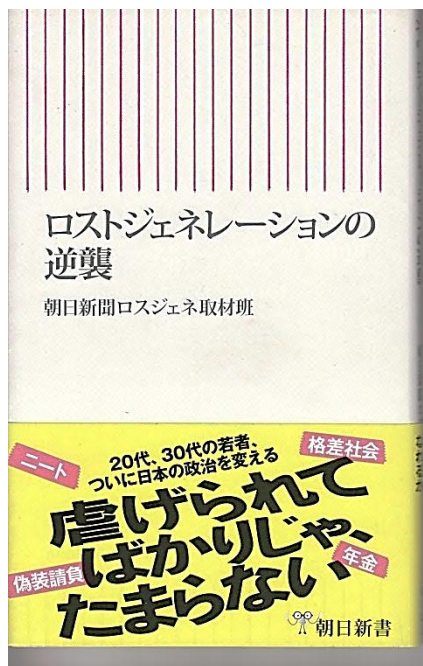
- 1972 年 11 月 サラリーマンの父と洋裁職人の母より生誕 ●埼玉栄高校普通科・日本福祉教育専門学校社会教育学科・日本大学法学部政治経済学科卒業
- 茅ヶ崎市内の児童福祉施設勤務を経て鴻巣市社会福祉協議会の職員となる。
- 専修大学藤本一美教授主宰の「千代田政治経済研究会」に参加 埼玉県内外の 20 代、30 代の地方議会議員との出会いをきっかけに自らも政治の道を志す。
- 白土春日部市議、松本和光市長ら主宰の「若手政治家養成塾」へ入塾
- 平成 19 年 4 月正真正銘「地盤・看板・かばん」なしから羽生市議会議員一般選挙に単身挑み、1,473 票を獲得、羽生市議会最年少当選

■趣味 釣り 読書 家庭菜園 陶芸
■特技 ギター弾き語り(ミュージシャンを夢見た事も…) バスケットボール ハンドボール ■家族 保育士の妻 かわいい長女 8 歳 元気な次女 6 歳 ■身長 184 センチ 体重 75 キロくらい A 型 さそり座 ■ライバル 貴乃花親方 木村拓哉(SMAP)(ともに同年生まれ)

●日ごろの積極的な活動が各種マスメディアに取り上げられています。【新聞】：朝日、読売、毎日、日本経済 【テレビ】：フジ「スタ☆メン」、TBS「総力報道・THE NEWS」【掲載書籍】「ロストジェネレーションの逆襲」朝日新書 「R25」 リクルート「アクセス 2008 高等学校現代社会」副教材 帝国書院【執筆】公職研 月刊『地方自治職員研修』～議会は変わる～

▼所属 若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会会員

中島の活動の掲載書籍を紹介



ロストジェネレーションの逆襲
(朝日新書)

載されています。興味のある方はぜひとも、書店にてお買い求めください。



ご支援ありがとうございます。

NO,17 の活動レポートにて「中島なおきを応援する会」へのご支援を募らせていただきました。市民の皆様から総額 53,000 円の献金がありましたことをご報告させていただきます。毎年、埼玉県選挙管理委員会への提出が義務付けられている収支報告書にしっかりと記載をさせていただき、公正に処理をさせていただきますとともに、大切に、大切につかせていただきます。加えて、この NO,18 の活動レポートに使わせていただいている用紙のうち 7,500 枚もご寄付をいただいたものであるということもお知らせをさせていただきます。心から感謝申し上げます。

更なるご支援は下記へお願いいたします。(上限 1 万円)

＜振り込み先＞ 武蔵野銀行 羽生支店
(普) 1028912 中島なおきを応援する会

ご意見・ご感想大募集

皆さんの声を直接市政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく、建設的なご意見、提案などぜひお聞かせください。

【中島なおき事務所】 〒348-0071 羽生市南羽生4-17-2 ☎ 048-578-8612 Fax 048-562-4231

✉ : japanist0422@live.jp (匿名、無件名のメールに返信はできません。)